

公益財団法人 米日カウンシル—ジャパン

U.S.-Japan Council (Japan)

2020 年度事業報告

2020 Business Report

I. 概要

公益財団法人米日カウンシル—ジャパン（以下本法人）は、第9年度の事業を終えるに至り、多岐にわたる活発でダイナミックなプログラムを通して、主たる慈善事業における目標を数多く達成し、日本における人と人とのネットワークを一層拡大しました。また、持続可能な組織基盤を固めることができました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行下において、本法人は他の多くの組織と同様に、困難な時期を経験しました。さらに、本法人創設メンバーのアイリーン・ヒラノ・イノウエ元会長が闘病の末に死去し、5月に後任の代表理事にスザンヌ・バサラが就任しました。また、迅速な対応を取ることができたため、多数のプログラムを革新的な方法でオンラインに転換し、効果的かつ影響力のあるプログラムを実施しました。本法人は、2020年度においては2,000人以上の参加者に向け50件以上のプログラムを成功に終わりました。

本法人が企画且つ監督し、また実施においては協働パートナーの支援を受けた活動を通して、日米の多数の若者がTOMODACHIイニシアチブに参加しました。TOMODACHIプログラムに参加した多くの若者が、人生の転機となる経験をしています。有意義な国際交流により、参加者は多様で素晴らしい絆を結ぶことができました。また、プログラムで学んだことにより、若者たちは新たな興味を抱き、内なる自信を持てるようになりました。2020年には、教育・文化・リーダーシップの分野で、TOMODACHIプログラムを12件実施し、総計865人の日米の若者が参加しました。

TOMODACHIイニシアチブの活動の延長として、本法人は9,500名を超えるTOMODACHIプログラム経験者にTOMODACHIアラムナイ・プログラムを提供しています。2020年度には、27におよぶTOMODACHIアラムナイ・プログラムを実施。870名を超す参加者はリーダーシップを強化するための経験、より直接的な体験、スキルを得る機会を持ちました。

また、本法人は日米関係に共通の関心を持っている経済界や政府、非営利団体のリーダーなどを対象とした人々の交流も実施しました。本法人のネットワーキングと一般教育プログラムの一つに、ビジネス・アドバイザー・ボードがあります。このミーティングは本年度中に対面とバーチャルで実施され、総計115名の日米のリーダーが日米関係における双方の関心事について議論をしました。

II. 目的

本法人は、日米関係にとって最も重要な側面である、あらゆる世代の日米の人と人とのつながりを推進し、教育、文化、経済における絆を強化して日米両国の長期にわたる友好関係を深めることを目的としています。

本法人の中核事業は日米の次世代を育成する官民パートナーシップ、TOMODACHI イニシアチブ（TOMODACHI イニシアチブまたは TOMODACHI）の運営です。在日米国大使館との協力のもと、教育プログラムとスポーツ・音楽・芸術分野における文化交流プログラム、リーダーシップ・プログラムの3分野のプログラムを実施しています。また、本法人は TOMODACHI プログラム体験者を対象とした TOMODACHI アラムナイ・プログラムを運営しています。同プログラムはアラムナイがお互いに関わり合いを持ち、刺激を与え合うため、また、リーダーシップスキルを継続して向上させるための機会を提供しています。

本年度は、本報告書に記載した通り、本法人が選考し出資したプログラムの運営管理を行いました。また、TOMODACHI イニシアチブのいくつかの活動は、ワシントン DC を拠点とする米国非課税団体米日カウンシル(U.S.)の支援および資金を受けて実施しています。

III. 事業

A. 慈善事業—TOMODACHI 教育プログラム

教育プログラムは、日米の若者が相互の国で体験を積むことにより、刺激を受け成長することを目指しています。広範囲にわたる多様なプログラムを通して、TOMODACHI イニシアチブは日米の若者に教育および交流の機会を提供し、日米関係全般を強化することを目指しています。本法人が2020年度に支援したTOMODACHI教育プログラムは以下の4件です。

TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

TOMODACHI インターンシップ・プログラム

TOMODACHI 架け橋 イノウエ・スカラーズ・プログラム

カタリバオンライン MyproRoom supported by TOMODACHI イニシアチブ

B. 慈善事業—TOMODACHI 文化交流プログラム

文化交流プログラムは、日本人とアメリカ人がお互いの国について学び、長期にわたり、相互に関心を持続させるきっかけを提供します。TOMODACHI は既存の文化交流プログラムを支援したほか、新たなプログラムを東北地方や日本各地で提供し、また、新規の革新的な活動を支援してきました。本法人が2020年度に支援した TOMODACHI 文化交流プログラムは以下の1件です。

TOMODACHI サントリー音楽奨学金

C. 慈善事業 — TOMODACHI リーダーシップ・プログラム

TOMODACHI は、次世代を担う若きリーダーを成功に導き、彼らが地域社会や母国、そして世界全体に前向きな変化を作り出すために必要なスキルと専門知識を取得するプログラムを実施しています。2020年度のプログラムには、高校生および大学生や若手社会人を対象としたフェローシップならびにリーダーシップ・プログラムが含まれました。本法人の支援で実施されたリーダーシップ・プログラムは以下の7件です。

Building the TOMODACHI Generation: Morgan Stanley Ambassadors Program

TOMODACHI 女子高校生キャリアメンタリング・オンライン・プログラム in 東北 supported by TOMODACHI コンビニ基金

TOMODACHI-STEM @ Rice University Program

第 10 回米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス (SFC) ・TOMODACHI アントレプレナーシップ・セミナー

TOMODACHI フォスターユース・リーダーシップ・プログラム

TOMODACHI ソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム

TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラム

D. 慈善事業 — TOMODACHI アラムナイ・プログラム

TOMODACHI の経験を基に実施されるアラムナイ・プログラムは、日米の若者たちがさらに経験を積み、スキルを身に付け、自信をつけることによって、インスピレーションと活力を得て、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるように支援しています。本法人は、アラムナイが強固で持続的な関係を築くために、関わり合い、刺激し合える多様な機会を提供します。

2020 年度において、全プログラムが WEB 会議ツールを活用しオンラインで実施されました。オンライン開催となったため、アラムナイの「地域」イベントに全国のアラムナイおよび関係者が参加しました。

2020 年度の TOMODACHI プログラム終了時点で、TOMODACHI アラムナイは 9,500 人超となりました。日本と米国の各地から参加したプログラム経験者は 14 歳から 40 歳と幅広い年齢層となっています。本年度は下記を含む 28 のプログラムが実施され、870 人を超える TOMODACHI アラムナイが参加しました。

シグネチャー・プログラム

次世代サミット

TOMODACHI 世代グローバル・リーダーシップ・アカデミー 2020

TOMODACHI アラムナイ RISE プログラム

TOMODACHI Industrial Insight

TOMODACHI Critical Conversations

地域活動

TOMODACHI アラムナイ 地域ウエルカム・イベント

TOMODACHI アラムナイ 地域テーマ・イベント

パートナーシップ活動

米日カウンシル ビジネス・アドバイザー・ボード

E. 慈善事業 — ネットワーキング／一般教育活動

本法人は、TOMODACHI イニシアチブ以外に日米関係の主要分野における絆を強化するため、ネットワーク構築と一般教育活動に取り組みました。2020年度に開催されたプログラムの多くはバーチャルで実施されました。

1. バイラテラル・ボードルーム

本法人は9月17日、日米のビジネス界・行政・非営利セクターのリーダーを招き、オンライン会議「バイラテラル・ボードルーム」を開催しました。「危機から学び、乗り越えるリーダーシップ」をテーマに重要な議論が交わされました。過去の危機から得たリーダーシップや重要な教訓の考察を行うとともに、現在の新型コロナウイルスの世界的感染拡大による影響を社会的・経済的な観点から分析しました。また、日米関係の未来を築くための協議事項を設定しました。バーチャルのライブ中継および動画投稿サイトで4,000人を超える人々が本会議を視聴しました。

2. ビジネス・アドバイザー・ボード

米日カウンシルと経済界の絆を強化するために、2014年に開始されたビジネス・アドバイザー・ボード (BAB) ミーティングが2020年度も継続して実施されました。米国と日本で功績を収めたエグゼクティブリーダーがBABを率いています。本年度は2回（オフライン1回、オンライン1回）実施され、参加者は合計115名に達しました。ミーティングは、スピーカーを交えたセッションで国際関係・文化・ビジネスの議題について議論が行われ、参加メンバーにはネットワーキングの機会が提供されました。

3. 日系アメリカ人による語り部プログラム

本法人は2020年度から「日系アメリカ人による語り部プログラム (JASP)」を開始しました。本プログラムでは、本法人のリーダーおよびメンバーが日本の大学で学ぶ若者に前

向きな教育的メッセージを伝えていきます。移民が体験する寛容と共感、差別と偏見の克服、社会における多様性の強み、日米間の懸け橋の構築を含む重要なテーマについて語られます。個人的な家族の物語を通して、こういったテーマが取り上げられます。2020年度には、8大学で400名を超える学生に対してプログラムが実施されました。

4. 訪日プログラム

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度のシグネチャー・プログラム、日系アメリカ人リーダー訪日プログラムおよびアジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム（AALD）は実施されませんでした。AALDの代替えとして、本法人はインタビュー動画を制作し、本プロジェクトの資金提供を行っている、笹川平和財団の公式サイトにインタビューシリーズとして発信されました。動画では、AALDの過去の参加者が、新型コロナウイルスや社会正義運動、選挙などに関連してアジア人コミュニティで起きていることについて報告を行いました。

IV. ガバナンス

本法人は引き続き定款に則り評議員会および理事会を運営します。

A. 役員

理事会（2020年12月31日現在）

理事会役員

ローヤン・ドイ チェア兼 代表理事
コーポレート ガバナンス スペシャリスト

スザンヌ・バサラ 代表理事
米日カウンシル会長兼 CEO

片山隆一 監事

理事

スタン・コヤナギ
オリックス株式会社 取締役 兼 常務執行役 グローバルジェネラルカウンセル

ゲイリー・S・モリワキ

ウィンデルズ・マーク・レイン・ミッテンドルフ法律事務所パートナー

大出隆

学習院女子大学 国際文化交流学部 非常勤講師

ジェニファー・ロジャーズ

アシュリオンジャパン・ホールディングス合同会社 ゼネラル・カウンセル アジア.

谷 美由紀

モルガン・スタンレー・キャピタル株式会社 エグゼクティブディレクター

評議員会 (2020年12月31日現在)

評議員会役員

キャシー・松井 会長

ゴールドマン・サックス証券株式会社 副会長

評議員

藤井 ダニエル 一範

トラスト・キャピタル株式会社 代表取締役社長兼CEO

ウィリアム・アイアトン

ソニー・ピクチャーズ インターナショナルプロダクションズ 日本代表

大河原 愛子

株式会社デルソーレ 代表取締役会長

高田ヘンリー聖一

シンテックジャパン株式会社 代表取締役

B. 役員会

本法人は2020年度において理事会6回、評議員会2回（臨時を含む）を開催しました。議事は以下の通りです。

2020年3月5日－理事会（定足数を充たし成立）

- 第8期事業年度の監査済み事業報告書および（内閣府に提出予定の）関連事業報告書の承認

- 第8期事業年度の監査済み貸借対照表と損益計算書(財務諸表)、財務諸表の附属明細書、財産目録、内閣府に提出予定の当該書類の承認
- 理事および事務局長による事業報告
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報の報告および TOMODACHI プログラム検討委員の再任の承認
- 理事および評議員の選任
- 定時評議員会の日時および評議員会における報告と承認事項の提案

2020年3月23日 – 評議員会（書面による全員一致の同意をもって成立）

- 第9期事業年度（2020年1月1日から12月31日まで）の事業計画書、予算と収支、および「資金調達および設備投資の見込み」の報告
- 第8期事業年度（2019年1月1日から12月31日）の監査済み事業報告書ならびに附属明細書の承認
- 第8期事業年度（2019年1月1日から12月31日）の貸借対照表、損益計算書（財務諸表）、財務諸表の附属明細書、財産目録等の承認
- 事業報告
- 理事、評議員、監査役の選任

2020年3月23日 – 臨時理事会（書面による全員一致の同意をもって成立）

- 代表理事の選任
- 執行理事の選任
- 理事長選の任

2020年6月25日 – 理事会（定足数を充たし成立）

- 理事の選任
- 第9期事業年度四半期財務報告書
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報
- 第9期事業年度の中間事業報告書

2020年6月25日 – 臨時評議員会（書面による同意）

- 理事の選任

2020年7月2日 – 臨時理事会（書面による同意）

- 代表理事の任命

2020年9月10日 – 理事会（定足数を充たし成立）

- 理事および事務局長による事業報告

- TOMODACHI イニシアチブの最新情報
- 第9期事業年度の中間財務報告書

2020年12月3日 – 理事会（定足数を充たし成立）

- 2021年度事業計画の承認
- 2021年度予算案の承認
- 選任された2020度の外部監査人の承認
- 2021年度の「資金調達および設備投資の見込み」の承認
- 2021年度の評議員会の開催日時・場所の決定
- 2020年度末の事業報告書
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報
- 寄付金等取扱規程改正の承認
- 2020年9月30日付の中間財務報告書

C. 組織に関する最新情報

2020年12月31日付 スタッフ一覧

津田順子 – 米日カウンシル（日本）事務局長

宇多田カオル – ディレクター、プログラム&パートナーシップ

橋本彩 – TOMODACHI イニシアチブ プログラム・マネージャー

加藤ひろみ – TOMODACHI イニシアチブ アドミニストレイティブ・オフィス・マネージャー

宍戸由加里 – TOMODACHI イニシアチブ アラムナイ・コーディネーター

高木香奈 – TOMODACHI イニシアチブ プログラム・アシスタント

高橋実希 – 米日カウンシル（日本）アドミニストレイティブ・コーディネーター

渡部奈々 – TOMODACHI イニシアチブ プログラム・コーディネーター

本法人は TOMODACHI イニシアチブ活動当初より、武田薬品工業株式会社から組織基盤強化（人事・事業費）のための寄付金を頂き、多大なご支援を賜っています。

D. ACCOUNTING

2020 Fiscal Year Budget and Results		
Revenue	Revised Budget (Yen)	Unaudited Actuals (Yen)
Corporate and Individual Contribution - TOMODACHI	90,837,560	73,804,370
Corporate and Individual Contribution - General Education	102,277,890	133,842,937
Interest Income	-	48,420
Net Assets Released from Restrictions	21,838,299	18,012,112
Total Revenue	214,953,749	225,707,839
Expenses	Budget (Yen)	Unaudited Actual (Yen)
Program Implementation Expenses (TOMODACHI & General)	158,786,698	165,508,644
Program Support Expenses (TOMODACHI & General)	56,167,052	56,526,325
Net Realized / Unrealized Loss on Translation of FX Transactions	-	3,672,870
Total Program and Program Support Expenses	214,953,749	225,707,839
Change in Net Assets	0	0

In 2020, U.S.-Japan Council (Japan) raised funding from corporate contributions to support the TOMODACHI Initiative. As illustrated above, total funds raised in 2020 was ¥74M. This was less than anticipated in the revised budget due to an extended slow-down of TOMODACHI activities. When the budget was revised (July 2020), it was anticipated that TOMODACHI activity might pick back up in Q4.

In addition to TOMODACHI activities, the Council engages in general education and networking activities to continue to build ties between Americans and Japanese in key areas of the relationship, with total funding in the amount of ¥134M in 2020. There was a significant effort put forth by Board members and staff to raise unrestricted general funding during 2020.

Total TOMODACHI and General Education program implementation expenses incurred in 2020 were ¥165M compared to a budget of ¥159M. Some of this difference was due to timing of program spending. Contributions are recorded when received and not when implemented. Program implementation expenses paid to implementers are recorded when paid and not when incurred. Several of the TOMODACHI programs are multi-year programs.

Program support expenses were ¥56M compared to a budget of ¥56M. Included in the total program support expense are contract services through a Service Agreement with U.S.-Japan Council (U.S.), a U.S. non-profit organization that also supports the TOMODACHI programs and General program activities.

Below is the Balance Sheet of the Council as of December 31, 2020.

Balance Sheet, as of December 31, 2020		
Assets	Unaudited 2020 Actual (Yen)	2019 Actual (Yen)
General Education Fund Assets	34,476,413	77,306,772
Other Assets - Equity Funds	3,000,000	3,000,000
Fixed Assets, Net of Amortization	679,514	1,073,191
Prepaid Expenses	651,859	511,610
Other Assets	0	832,000
TOMODACHI Specific Assets	219,911,777	245,270,071
Total Assets	258,719,563	327,993,644
Liabilities		
Accounts Payable	2,592,706	3,675,691
Withholding Tax	351,635	269,000
Due to USJC (US)	3,344,258	53,605,877
Total Current Liabilities	6,288,599	57,550,568
Net Assets	252,430,964	270,443,076
Total Liabilities and Net Assets	258,719,563	327,993,644

Total assets are ¥258M, down from ¥328M in 2019. General fund assets were reduced primarily due to labor costs not billable to TOMODACHI programs. TOMODACHI specific assets are lower than 2019 because 2020 programs were funded in part by monies received in prior years. Other assets reflect a deposit for office space which was refunded in 2020. Liabilities are significantly less at year end in 2020 than in 2019 due, to a grant provided by USJC (US) for TOMODACHI.

E. 寄付者

2020年 TOMODACHI 寄付者

日本アムウェイ財団
ダウ・ケミカル日本株式会社
エクソン・モービル・ジャパン合同会社
株式会社ファミリーマート*
株式会社ファーストリテイリング*
ゴールドマン・サックス証券株式会社*
日立製作所*
本田技研工業株式会社
株式会社ホテルオークラ東京
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社*
キッコーマン株式会社
株式会社ローソン*
メットライフ生命保険株式会社
三井物産株式会社
三菱 UFJ リース株式会社
三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社
三菱 UFJ ニコス株式会社
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社
株式会社三菱 UFJ 銀行
MUFG Union Bank, N.A.
ノースロップ・グラマン
プルデンシャル財団
ソフトバンクグループ株式会社
住友商事株式会社
サントリーホールディングス株式会社*
武田薬品工業株式会社 F*
トヨタ自動車株式会社
在東京米国大使館

*寄付は前年度までにされていますが、この寄付によるプログラムが2020年も継続されています。

2020年 米日カウンシル寄付者 (企業および年間100万円以上の寄付を行った個人)

3M ジャパングループ

アドビ株式会社 (Adobe KK)

株式会社アドバンテッジパートナーズ

AIG ジャパン・ホールディングス

日本アムウェイ合同会社

匿名

株式会社デルソーレ

イーソリューションズ株式会社

fabbit 株式会社

富士通株式会社

GCA 株式会社

Google Japan

株式会社ヘリオス

株式会社ヒガ・インダストリーズ

株式会社日立ハイテクノロジーズ

株式会社日立物流

日本アイ・ビー・エム株式会社

IGPI

インターコンチネンタル商事合同会社

日本航空株式会社

日本空港ビルディング株式会社

日本産業パートナーズ株式会社

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

川原 K. ラッセル & 裕子

キッコーマン株式会社

KPMG ジャパン あずさ監査法人

株式会社ローソン

メジャーリーグベースボール ジャパン

丸紅株式会社

三菱重工業株式会社

モルガン・スタンレー

日本電気株式会社

日本ペイントホールディングス

オリックス株式会社

PAG インベストメント・マネジメント株式会社

パロアルトネットワークス株式会社

PwC Japan グループ

株式会社 REVOLUTION

ジェニファー・ロジャーズ

株式会社ロキグループ

ソニー株式会社

ソースネクスト株式会社
サントリーホールディングス株式会社
田中正明
谷美由紀
東京海上ホールディングス
東洋水産株式会社
トヨタ・リサーチ・インスティテュート・アドバンスト・デベロップメント株式会社
豊田通商株式会社
読売新聞

2020 年 寄付金以外による支援者

全日本空輸株式会社
エボリューションジャパン株式会社
早坂毅行政書士事務所
株式会社帝国ホテル
日本空港ビルディング株式会社
公益財団法人 公益法人協会
有限責任 あずさ監査法人
オリック・ヘリントン・アンド・サトクリフ LLP
トライコー株式会社

2020年1月1日から12月31日に寄付金または現物寄付を米日カウンシル（日本）に提供した企業・事業・個人は上記の通りです。該当する期間前の寄付情報は公益財団法人 米日カウンシルージャパンの2019年度事業報告書に記しており、要請に応じて提出いたします。

F. 連絡先

公益財団法人 米日カウンシルージャパン
東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート 12F
電話：03-4510-3400
URL www.tomodachi.org